



2020年7月31日

各位

会社名 川崎近海汽船株式会社
 (コード番号 9179 東証第2部)
 代表者名 代表取締役社長 久下 豊
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 佐野 秀広
 (TEL:050-3821-1334)

2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年4月30日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	18,100	△ 550	△ 600	△ 300	△ 102.20
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	22,505	1,444	1,398	1,086	370.21

(2) 2021年3月期通期 連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	36,000	△ 1,400	△ 1,450	△ 800	△ 272.52
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期通期)	44,337	1,913	1,907	1,370	466.90

(3) 業績予想の理由

2021年3月期の業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、世界経済は急激に縮小しており、引き続き予断を許さない状況にあるものの、感染拡大に対する各国の防止策により、新型コロナウイルスの感染が収束に向かうとともに、世界経済が回復に向かうことが期待されます。

しかしながら、我が国においては、2020年5月に緊急事態宣言は解除されたものの、その後、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増加するなど先行き不透明な状況が続いており、足下の厳しい経済状況が継続すると見込まれ、本格的な景気回復には、かなりの時間を要するものと予想しております。

当社グループにおいて、近海部門では、バイオマス関連輸送は堅調である一方、鉄鋼需要の低迷により、鉄鋼メーカー向け石炭輸送や東南アジア向け鋼材輸送で輸送量が減少しております。内航部門では、定期船輸送の生活雑貨等の輸送は堅調に推移しているものの、紙製品や建設資材等が大幅に減少しており、不定期船では、鉄鋼メーカー向け副原料の輸送などが減少しております。また、旅客フェリーでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止策により5月の大型連休中の旅客が大幅に落ち込んだほか、夏休みを利用した人の移動も自粛傾向にあり、旅客の減少が予想されます。OSV部門では、期初からプロジェクト案件等の実施が少なく、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

こうした状況下、当期の業績につきましては、売上、利益水準ともに前年を大きく下回ることを予想しておりますが、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応に適切に取り組み、顧客の動向に注視し、顧客のニーズと中長期的な市場動向を見極めながら、コスト削減と安全運航に努めて、収支改善を図ってまいります。

なお、本業績予想は、新型コロナウイルスの感染拡大・収束の状況や時期をはじめとする外的要因により予期せぬ変動が生じる可能性も否定できないため、大きな変動が見込まれる場合は、速やかに修正いたします。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	50.00	—	50.00	100.00
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	60.00	—	60.00	120.00

(2) 配当予想の理由

2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想の合理的な算定が困難であったことから、未定としておりましたが、今般、上記業績予想を公表することから、同時に配当予想についても公表することといたします。

業績予想は上記のとおり、大幅に悪化する見込みではありますが、当社は持続的な企業価値向上と安定配当を経営の最重要政策の一つと位置づけており、総合的に勘案して、上記の配当予想といたしました。

※本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

【参考】セグメント別連結業績予想／前提条件

(百万円)

		2021年3月期		2020年3月期	増減額	増減率	
		上期	下期				
近海部門	売上高	8,600	4,300	4,300	11,935	△ 3,335	△ 27.9 %
	営業損益	△ 750	△ 310	△ 440	△ 350	△ 399	—
内航部門	売上高	26,000	13,000	13,000	30,339	△ 4,339	△ 14.3 %
	営業損益	△ 150	0	△ 150	2,085	△ 2,235	—
OSV部門(※)	売上高	1,400	800	600	2,059	△ 659	△ 32.0 %
	営業損益	△ 500	△ 240	△ 260	177	△ 677	—
合計	売上高	36,000	18,100	17,900	44,337	△ 8,337	△ 18.8 %
	営業損益	△ 1,400	△ 550	△ 850	1,913	△ 3,313	—
為替レート		¥107.18	¥107.36	¥107.00	¥109.06	¥△1.88	△ 1.7 %
燃料油価格		¥53,300	¥48,900	¥57,700	¥57,675	¥△4,375	△ 7.6 %

(※) OSVとは「Offshore Support Vessel(オフショア支援船)」の略称です。